

令和7年度職員提案『改角』グランプリ「アイディア提案部門」表彰提案及び採用提案一覧

賞名	提案名	提案概要	実施方針
最優秀賞	該当なし		
優秀賞	総務課など電話対応の多い課への自動音声案内及び電話録音機能の導入	現在、総務課などの窓口部署は、電話対応に多くの時間を取られており、業務の中断や職員の精神的負担が大きな問題となっている。また、悪質な苦情を受けるケースが増加し、対応リスクも高まっている。 このことから、自動音声案内（IVR）機能の導入により、問い合わせを担当課に適切に振り分け、緊急性の低い案件には自動案内やウェブFAQを活用し、電話対応に関する負担の軽減を図る。また、電話音機能を導入し、職員を不当な言動から保護することを目指す提案。	令和8年1月5日～ 今年度IP 電話の更新に伴い、電話録音機能については具備されるため、新しい電話交換機が稼働する際から実施予定。市民へのお知らせはカスハラ対策のため総務課にお願いしたいと考えている。 方針が決まり次第 自動音声案内についても機能は持っているため実施可能。代表電話を管理している総務課でどこ宛の電話が多いかなどを分析し、階層の作成を行いたい。また代表電話（63-2111）を自動音声対応専用にする場合は総務課の番号が別途必要となる。
	庁内研修会の動画開催	集合形式の職員研修を行う場合、担当職員が業務から離れることによる窓口業務への影響や、決裁権者不在による決裁への支障が生じている。そのため、実技や演習を伴わない研修は動画研修に変更することで、受講者が自席で視聴できるようにする提案。	令和8年度 【試行期間】 システム関係の研修などマニュアルがあるようなものは、動画研修またはマニュアルのみで運用する。ハラスメント研修など動画研修を取り入れることができるようなものも検討し運用する。 令和9年度以降 試行期間での結果をもとに本格運用開始
	住民と職員の安全を守る防犯カメラと110番非常通報装置	近年、日本全国で窓口での暴言や暴行が問題視され、最悪の場合、自治体職員が死亡する例も発生しており、角田市でも警察を呼ぶ事態が起きている。そのため、市の施設に防犯カメラを設置することにより犯罪の抑止を図り、さらに、避難所となる施設や多くの住民が集まる施設、保育所など子どもがいる施設には110番通報装置を設置を行うことで、職員や施設利用者の安全に配慮する提案。	令和8年2月まで 市庁舎に係る防犯カメラ設置 各施設での活用を想定した防犯カメラ等の設置運用要綱策定 令和7年11月～ 110番非常通報装置について事例と情報収集
優良賞	シニアエキスパートの新設等	60歳以降の職員は、役職定年を迎えた後もその知識や経験、人脈を活かし、市の業務全体のサポートや若手の指導、部門を超えた調整を行うことが求められる。そのため、役職定年した職員については一般の職員と同じような特定の業務を担当するのではなく、知識・経験を活かし、全体の統括や調整、助言、サポート等としていただく職としての任用や全体をサポートする部署の新設などを目指す提案。	令和9年3月まで 運用方法や先進事例について情報収集検討。 令和9年度中 試験運用開始（年度中間での評価修正） 令和11年4月～ 試験運用を踏まえ、運用開始。
	時差出勤・フレックスタイム制度を導入し、柔軟な働き方で業務と生活の調和を/勤務形態に係る「働き方改革」の実施について	時差勤務やフレックスタイム制度を導入することで、職員の通勤・勤務負担の軽減などワークライフバランスの確保、また、柔軟な勤務制度を導入することで、他自治体との差別化を図り人材獲得への貢献などを狙う提案。	令和7年11月～ 【時差出勤】試験運用開始。 ※時差出勤とフレックスタイムの同時導入せず、まず、時差出勤について試験運用・本格運用を行い、その後、フレックスタイムの検討を行う。 令和8年4月～ 【時差出勤】試験運用を踏まえ本格運用開始。
職員人気賞	総務課など電話対応の多い課への自動音声案内及び電話録音機能の導入	「優秀賞」の提案と同じ	「優秀賞」の提案と同じ
職員人気賞次点	時差出勤・フレックスタイム制度を導入し、柔軟な働き方で業務と生活の調和を/勤務形態に係る「働き方改革」の実施について	「優良賞」の同提案と同じ	「優良賞」の同提案と同じ